

船舶事故等調査報告書

平成21年3月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

| | | |
|--------------|--|--|
| 事故等番号 | 2008神第84号 | |
| 事故等名 | モーターボートと丸漁船春日丸衝突 | |
| 発生日月時刻 | 平成20年11月14日12時00分ごろ | |
| 発生場所 | 高知灯台から真方位144° 3.8海里付近 (概位 北緯33° 27'、東経133° 39') | |
| 事故等調査の経過 | 調査の概要: 神戸・地方事故調査官が平成20年12月25日B船長及び26日A船長に 電話聴取 原因関係者からの意見聴取: 意見なし | |
| 事実情報 | | |
| 船種・船名・総トン数 | A モーターボート 和丸 4.92トン | |
| 船舶番号 | 282-17421 | |
| 船舶所有者等 | 個人所有 | |
| 船種・船名・総トン数 | B 漁船 春日丸 4.9トン | |
| 船舶番号(IMO 番号) | KO-18335 | |
| 船舶所有者等 | 個人所有 | |
| 乗組員等に関する情報 | A 船長 二級小型船舶操縦士 | |
| | B 船長 一級小型船舶操縦士 | |
| 負傷者 | A なし | |
| | B なし | |
| 損傷 | A 左舷船尾外板にき裂 | |
| | B 左舷外板に擦過傷 | |
| 事故等の経過 | A船は、船長が1人で乗り組んで高知港を発し、同港沖で錨泊して魚釣り中、B船は船長ほか2人が乗り組んで同港を発し漁場へ向けて航行中、B船の船首とA船の左舷船尾とが衝突した。 当時、付近海域には少し波があったが視界は良かった。 | |
| 分析 | 気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析 | なし あり なし A船が、魚釣りに気を奪われ、B船が接近するのに気付かなかった可能性があると考えられる。 B船が、GPS画面の航跡を見ながら操船することに気を奪われ、錨泊中のA船に気付かなかった可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、B船が、GPS画面の航跡を見ながら操船することに気を奪われ、錨泊中のA船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。 | |
| その他の事項 | なし | |